

# 熊野町のいしぶみとたぐね 第10回

## ～ 萩原の夜泣き石 ～



▲夜泣き石 高さ約300cm



▲龍王神社の社（場所：萩原備前）

### 夜泣き石

むかしむかし、萩原の小迫地を流れている川の中に細長い石がありました。夜、人が近くを通ると、その石から泣き声が聞こえます。

人々はその石を夜泣き石と呼んでいました。小迫地の和乎さんは、大変親切な人で信心深い人でした。ある夜、夢枕に龍神様が現れて「我は龍神なるぞ、そなたを見込んでの頼み



は御神体として奥の院として山の中に祀られています。中原明雄氏伝

お彼岸に龍神様が乗り移った御輿が担がれて行く事から、熊野の彼岸船が始まったのではと説いておられました。

熊野町郷土史研究会

熊野よもやま話より

取材／民法・時光・片川・沖田

であるが、川の中から早く引き上げてほしい。」とお告げがありました。夜が明けると、すぐに和乎さんは川に行き、夜泣き石を「おいこ」で背負って丘に運び、龍神様としてお祭りしました。そのうわさを聞いて大勢の人達がお参りするようになりました。村人たちは、お参りするには遠くて不便なので、人里近くにお移りいただくことに決めて、大勢の人

## 沖田ゆかり議員

### Q 町内小・中学校の体育館の天井などについて

A 天井材の撤去を検討している。(藤森教育部長)

小・中学校の体育館で、つり天井の構造で天井材が設置されているものは、第一小学校、第四小学校、東中学校の体育館3棟である。また、第四小学校、東中学校は、天井の一部だが、第二小学校は、全面的につり天井になっている。

この3棟は、構造物の耐震補強工事を既に終えているが、天井材については、落下の恐れがあることから、防止策として、天井材の撤去を検討しており、平成26年度までに対策を行うよう計画している。

Q 耐震点検はどの程度実施されているのか。対策が必要とされた学校の実態は、どうなっているのか。

### Q 各々支援員の活動状況実態について

## 片川 学議員

A 今後も生徒指導の充実に努めて参りたい。(富田谷学校教育課長)

また、担任やその他の関係教員や家庭教育支援アドバイザーなどと連携し、生徒との信頼関係をつくりながら悩みに対する教育相談を行うとともに、生徒が取り組んでいる学習プリントや提出物などの学習支援を行っている。

生徒指導相談員は、各中学校に1名ずつ配置し、不登校傾向の生徒のための相談室で教育相談と学習支援にあたっている。

また、担任やその他の関係教員や家庭教育支援アドバイザーなどと連携し、生徒との信頼関係をつくりながら悩みに対する教育相談を行うとともに、生徒が取り組んでいる学習プリントや提出物などの学習支援を行っている。

Q 6月定例会でお伺いした後の実態と今後について。

A 家庭教育支援アドバイザーや学校各支援員は、支援対象児童生徒の相談活動や家庭訪問、学力向上に向けた取り組みの補助業務等を行っている。

配慮児童支援員は、問題行動のある児童に対応し個別支援を行っている。

### 文教委員会

7月17・18日に高松市総合教育センターと松山市青少年センターを訪問し研修を行った。

高松市総合教育センターでは、学校教育現場における教師の事務負担の軽減と児童生徒の情報漏洩防止の為に先進的取り組みについて学び、松山市青少年センターでは、子ども総合相談室でのいじめ、体罰、不登校等、様々な問題を抱えた子ども達を継続的に支援する先進的事例について学んだ。

### 産業建設委員会

8月19日に産業建設委員会を開催した。

委員会では、建設部長より、「深原地区町有地造成事業のこれまでの経緯について」説明を受け、委員から多くの質問が挙げられた。

### 広島県町議会議員研修会

8月22日、広島市内で開催された「広島県町議会議員研修会」に多数の議員が参加した。

信州大学経済学部教授の眞壁昭夫氏による「世界経済とわが国景気の展望」アベノミクスの行方」と時事通信社特別解説委員の加藤清隆氏による「激動の政治情勢を読む」について、講演を受けた。

※各委員会の活動については、ホームページでご覧いただけます。



▲松山市青少年センターでの研修

## 議会・委員会活動等紹介